



# きくがわ 社協だより

No.142  
2016年  
12月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に  
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

## 「みんなのしあわせ懇談会」を 開催しました



大学生が参加した平川地区の様子

今年度もコミュニティ協議会と菊川市社会福祉協議会との共催にて「みんなのしあわせ懇談会」を開催しました。懇談会では参加されたみなさま方から様々なご意見をいただきました。また、地区によっては福祉を勉強している大学生を交えてグループ懇談を行い、若い方の意見を聞き、地域福祉について話を深めました。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザげやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

# 平成28年度みんなのしあわせ懇談会を開催しました

今年度も市内全11地区にて、

- ① 地域の課題を探り出して今後の事業展開に反映させること
- ② 住民のみなさまとの懇談をしたり、資料を通じて地域の課題や福祉の活動の必要性について理解すること

を目的に懇談会を開催しました。

各地区の自治会関係者やコミュニティ協議会関係者、民生委員・児童委員のみなさまなど多くの方に参加していただきました。

開催にあたりご協力をいただきました自治会関係者、コミュニティ協議会関係者のみなさまありがとうございました。

地区	開催月日	人数
⑪ 平川	10月14日(金)	24
⑩ 嶺田	9月26日(月)	44
⑨ 小笠南	9月5日(月)	39
⑧ 内田	9月1日(木)	65
④ 河城	8月30日(火)	56
⑥ 西方	8月29日(月)	44
⑦ 六郷	8月26日(金)	60
⑤ 加茂	8月25日(木)	48
③ 小笠東	8月24日(水)	48
② 横地	8月19日(金)	42
① 町部	8月17日(水)	31

各地区の開催状況は、次の表のとおりで、それぞれの地区センター、コミュニティセンターを会場とし、午後7時から午後9時の2時間で開催しました。  
参加人数は、合計で501人となり、人口の1%以上の方に参加していただくことができました。

## ○ 開催日時と参加人数

## ○ 懇談会の内容



ア 開 会

(社会福祉協議会・コミュニティ協議会長)

イ 説 明 (菊川市社会福祉協議会)

ウ 懇 談 (進行：平田 厚氏)

(ア) グループ懇談

『住みやすいですか あなたの地区は』

『これからの5年後、10年後を見据えて』

(イ) 発 表

工 閉 会 (地区自治会長)

## ○ 懇談会から浮かび上がった共通項目

※ 主に出された意見を一部抜粋して報告いたします。

### A コミュニティ組織の課題

- ・ 「新旧混在地域」の住民相互に「地域理解」の啓発周知方法が課題
- ・ いかに地域ニーズを把握し、コミュニティ組織のあり方を考えていくか 他

### B 市民の移動手段（コミュニティバス）

- ・ 市民主体のコミュニティバスの活用（自由に乗り降りできる、高齢者の移動手段）
- ・ 高齢者の移動としての「コミュニティバス」の不便さを感じる（乗り継ぎ、時間を要す） 他

### C 地域環境問題

- ・ 地域の環境整備作業でゴミ問題が浮上している
- ・ 自然に恵まれつつも、後継者問題から茶畑が荒れている 空家対策 他

### D 防災意識の向上

- ・ 防災訓練のあり方（日頃の互助・共助の深まりを、いかに災害時に活かすかを考える）
- ・ マンネリ化しつつある防災訓練の真の必要性を考える 他

### E まちづくりへの課題（社会資源の有効活用）

- ・ 地域の開発は、住民主体の原則を重視しつつ
- ・ 空地・空家問題 他

### F 要援護者対策

- ・ 高齢者等買物弱者支援
- ・ 超高齢社会の今、生活に不安をもつ住民のための生活支援の検討 他

### G 関係領域との協働・連携

- ・ 医療・福祉・教育・企業等との連携
- ・ 地域活動を関係団体だけで問題解決することなく広がりを持たせる工夫 他

### H 福祉の意識啓発

- ・ あいさつを大切にす
- ・ まずは、「自助」の基盤を確立していく、その上で「共助」の支え合い 他

### I 地域実践活動の継続化

- ・ 中学生のあいさつ運動の継続の期待
- ・ 郷援隊を結成し、地域の環境整備に取り組んでいるが後継者育成が課題 他



### J 民生委員活動

- ・ 民生委員活動を理解する 他

### K 福祉関連団体の活性化

- ・ 老人クラブ組織の継続的活動 他

### L 世代を超えた交流（若者の地域参加）

- ・ 地域行事（お祭り）等、世代間交流の機会を維持する
- ・ 若者に地域参加の機会を創る努力 他

### M 多文化共生

- ・ 外国人を排他的にしない。受け入れる努力が必要 他

### N 地域ぐるみの居場所づくり

- ・ サロン活動を地域ぐるみに発展させる取り組み
- ・ 自治会ぐるみで世代間交流できる場をもつ 他

### O ご近所福祉

- ・ お互いに支援し合える環境を作るには、日頃の関係作りが大切 他

今後、みなさまから頂いた意見をもとに、これからの地域福祉のあり方について、本会として、また各地区のみなさまと一緒に考えて取り組んでいきたいと思います。

## 多くの出会いに…

### Q. 現在の活動について教えてください。

月1回、第4土曜日の午前中、福祉マップづくり委員会に参加し、代表を務めています。平成5年に会が発足してマップが発行された平成7年から入り、もう長くやっています。初めて、わたぼうし静岡コンサートに「まちにいきたい」という詩を応募し8作品の中に入選しました。その後、曲も公募で付けていただきコンサートで歌われました。そのコンサートをたまたま見に来ていた福祉マップづくり委員会の方が、同じ菊川ということがきっかけで、福祉マップづくり委員会に誘っていただいたのが始まりです。わたぼうし静岡コンサートは7回入選し、2回大賞をいただきました。（「小さな手」、「ドアの向こうに」の2曲）

また、県車いす友の会掛川市支部の活動で事務局をやっています。月1回掛川市「たまり一な」に集まっています。掛川送迎ボランティアさんをお願いして送迎してもらっています。それまでは家と草笛の会の生活でしたが、わたぼうしコンサートがきっかけで色々な活動が増え世界が広がりました。仕事は草笛の会で年賀状などの作成の仕事をやっています。今とても忙しいです。



鈴木貴裕さん（自治会名：堀田）

### Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

私たちは一人ではあまり外へ出られません。みんなが集まり、協力してくれるボランティアさんもいて、一人一人みんなで計画を出し合い、計画どおりに行った時が何よりも嬉しいです。2年に一回行く、友の会の一泊研修旅行はとても楽しみです。今年は知多半島に行きます。今の悩みは、最近ボランティアさんが増えないことです。大勢いれば、一人の方に負担を掛けなくて済むので。

### Q. 趣味や楽しみなことは何ですか。

パソコンをやっていることが多いです。パソコンが使われるようになり世の中とても便利になりました。パソコンのおかげで出来る仕事も増えました。前はボランティアセンターの予約をするにも他の人に頼んで電話を掛けてもらったり、代わりに出向いてもらっていましたが、今はメールで頼めます。パソコンの普及が私たちを助けてくれています。

### Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

ボランティアをやってくれる人を増やしていきたいと思えます。運転ボランティアさんや外出ボランティアさんが増えてくれると嬉しいです。

福祉マップづくり委員会の会員も増やしたいです。このままだと活動が困難になってしまいます。

※ボランティアをやりたい方や興味のある方がいらっしゃったら、お気軽にボランティアセンター（☎35-6385）にお問合せください。お待ちしております。



パソコンを使って仕事

※みなさんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。

# 和田緑を守る会

## ○目的

和田緑を守る会は、未来ある子供たちに、より良い地域環境を残し、地域の緑化活動や自然への触れ合いを推進するため、平成4年4月に設立されました。

## ○紹介

### ①地域の緑化活動

和田公会堂周辺に花壇をつくり、年間を通じて季節ごとにいろいろな花を植えて、花いっぱいの公会堂にしています。

地域の多くの人達が利用する公会堂周辺に色とりどりの綺麗な花が咲いているのを見て、皆さん方から「心が和みます」と好評を得ています。

また、子供たちが野球やその他のスポーツを行う和田公園周辺には、たくさんの大きな桜の木が植樹されていますが、毎年美しい花を咲かせるため、8月・10月には消毒や周辺の草刈り等を行い環境整備に努めています。

### ②アユとウナギのつかみ捕り

大人が子供の頃、近所の川で魚を捕ったりして遊んだ楽しい思い出を子供たちにも体験してもらうため、毎年夏休み期間中の8月にアユとウナギのつかみ捕りを行っています。

今年も大勢の子供たちが参加して、水路に放したアユとウナギをびしょぬれで捕まえました。ぬるぬる滑るウナギや逃げ回るアユを懸命に捕まえる笑顔の子供たちは、私たち大人に子供の頃を思い出させてくれました。

また、捕まえたアユは塩焼きにし、ウナギは捌いてかば焼きにして食べてもらいました。これからも、和田地域の将来を背負ってもらう大切な子供たちのために、大人と子供の触れ合いの場を作っていきたいと思っています。

和田緑を守る会 代表 飯塚 利彦



和田公会堂



アユとウナギのつかみ捕り

ご寄付ありがとうございました(10月~11月)

心温まる浄財は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

浄財寄付 菊川市仏教会様 日蓮宗静岡県西部宗務所様 初心様  
 車いす寄贈 マックスバリュ東海株式会社様



日蓮宗静岡県西部宗務所様



マックスバリュ東海株式会社様

菊川市社会福祉協議会「賛助・団体会員」へのご加入ありがとうございました

法人会員 (有)石川造園設計  
 施設会員 就労継続支援B型事業所 きくがわ作業所 就労継続支援B型事業所 工房オアシス (順不同・敬称略)

園児たちと交流しました「日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン」

10月27日(木)、「日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン」に集まった高齢者17人と西方保育園児年長クラス24人が、交流をして楽しく過ごしました。

園児たちが、元気いっぱい「西方保育園の歌」と「手のひらを太陽に」の歌声を披露すると、参加者から「上手だったよ。ありがとう。」という声が上がりました。その後は、手遊びと玉入れで盛り上がり、会場は笑顔の花が咲き、笑い声で包まれました。

「また来てくださいね。」とサロンスタッフの皆さんが先生にお声掛けされていました。これからも交流が続くと嬉しいですね。



高齢者いきいき創造広場を開催しました

11月15日(火) 菊川市文化会館アエル、大ホールにおいて、「高齢者いきいき創造広場」が開催されました。

この開催は、県内各地シニアクラブの芸能、文化活動等の成果発表及びリフォームファッションショーを通じ、広く県民とのふれあい、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進することを目的に、静岡県とシニアクラブ静岡県が主催し毎年開催されています。

今年度は、菊川市老人クラブ連合会が共催し、会場を盛り上げました。

「作品展示、体験コーナー」を始め、「リフォームファッションショー」においては、県内から約50人が出演し、タンスに眠っていた着物やコートなどをお洒落に仕立て直し、自らモデルとなりステージ上で披露しました。

また、9団体が出演した「芸能交流ひろば」においては、コーラスや舞踊を披露し、会場を盛り上げました。

会場からは、歓声もあがり多くの方で賑わいました。



宮坂流 友銭会 傘踊り



リフォームファッションのみなさん

# ボランティアの広場

## ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

### 菊ボコ (菊川災害ボランティアコーディネーター)

私たちの団体は、今年新人が7名加わって46名になりました。私たちの住む菊川市が地震や水害などの災害に見舞われた時、県内外から応援に来てくれるボランティアの皆様を、社協の皆様と協働でお世話する会です。万一の災害に備えて、毎年8月の最終土曜日に他のボランティアの皆様や民生委員、一般市民の協力を得て災害ボランティア本部立上げと運営訓練を行っています。

日頃は災害についての研修、ボランティアの勉強会など、定例会では何でも話し合える会です。消防署の普通救命講習も毎年会の有志で受講しています。是非皆さんも訓練にご参加ください。



写真撮影：おっ撮りカメラ隊

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

## 第39回静岡県ボランティア研究集会の御案内

日時	平成29年2月12日(日) 10:00~16:45
会場	静岡県立大学大講堂ほか(静岡市駿河区谷田52-1)
テーマ	想いをつなぐ新次代のボランティア~多くの窓が開いている!~
内容	①基調講演「半ケツとゴミ拾い 一歩を踏み出す勇気」 講師 荒川 祐二 氏(作家) ②テーマ別分科会(8分科会) ③全体会
参加費	一般1,000円・高校生以下500円
締切り	平成29年1月27日(金) ※定員400名になり次第締め切り
問合せ先	NPO法人 静岡県ボランティア協会 ☎054-255-7357 募集要項・申込書は、社会福祉協議会窓口とボランティアセンターにあります。

## 求むボランティアさん

問合せ先  
ボランティアセンター ☎35-6385

### 「特別養護老人ホーム 松秀園」

活動内容	話し相手、食事介助、窓拭きなど
活動日時	事前連絡の上で調整します
募集対象	一般、学生(小学5年生以上)

### 「軽費老人ホーム 和松園」

活動内容	①お楽しみ教室のお手伝い ②話し相手、クラブ活動のお手伝い、掃除
活動日時	①毎週木曜日 14:00~15:00 ②随時 9:00~12:00 13:30~15:30
募集対象	一般、学生(小学4年生以上)

### 「和松会デイサービスセンター」

活動内容	レクリエーション活動の支援、話し相手など
活動日時	月曜日~土曜日 10:00~12:00 13:30~15:30
募集対象	一般、学生(小学4年生以上)

# 参加者募集 各種事業

## 平成29年度 地域福祉活動支援助成のご案内

地域における福祉活動の支援を目的とし、市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、ボランティア団体、市民活動団体、企業などに、共同募金の配分金を財源に助成金を交付します。

- 交付申請協議書の提出（1月）  
助成を希望する団体は、平成29年1月20日（金）までに「交付申請協議書」をご提出ください。
- 助成金の内示（2月）  
審査会において協議し、助成金額を内示します。
- 交付申請書の提出・交付決定（3月）

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 ☎35—3724

## 「フードドライブ」に御協力ください

- 実施期間** 平成29年1月5日（木）～1月31日（火）
- 回収場所** 菊川市社会福祉協議会窓口  
（プラザけやき内）
- 希望食品** 穀類（お米、麺類、小麦粉等）、保存食品（缶詰、瓶詰め等）、インスタント食品、調味料、食用油、飲料（ジュース、コーヒー、紅茶等）、ふりかけ、お茶漬け、のり、ギフトパック（お歳暮、お中元）など、常温で保存ができる物



### （食べ物を寄贈する時の注意）

- ①生鮮食品の寄贈は受け付けておりません。
- ②賞味期限が1ヵ月以上ある食べ物を寄贈ください。
- ③原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- ④お米、缶詰、パスタ、そうめん、防災食などが喜ばれます。

問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35—3724

ご家庭に眠っている食品を募集しています！  
**フードドライブ実施中！**



フードバンクふじのくに  
開催日程：2017年1月5日～1月31日

### 「フードドライブ」ってなに？

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を学校や職場、食品募集受付施設などに集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。

寄付していただいた食品は行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方々にお渡しいたします。

## 相談窓口

### 福祉総合相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

### 生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

### 心配ごと相談

日時 1月4日（水） 9：00～12：00

1月16日（月） 13：00～16：00

会場 プラザけやき

日時 1月5日（木） 13：00～16：00

1月20日（金） 9：00～12：00

会場 菊川市役所 小笠支所

### 結婚相談

日時 1月6日（金） 18：00～21：00

（受付20：00まで）

1月15日（日） 9：00～12：00

（受付11：00まで）

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用日となります。

### ひきこもり、不登校無料相談会

日時 1月16日（月）・23日（月）

13：00～16：00

会場 菊川児童館（プラザけやき2階）

予約電話 090-1476-3233